

「頻度のヒント」ユーザー・マニュアル (Ver. 3.3c)

みんなのワードマクロ

新田順也

うれしさ

本文中の重要な単語（複合語）を抽出できます。その抽出した単語を上書き翻訳の用語集の作成に利用できます。

重要単語や重要単語が含まれる文章をマーキングできます。これにより、書類の内容を視覚的に把握できます。

できること

- ①本文中*に使われる語句の使用頻度を表示（本文中のフレーズ、指定キーワード）
- ②表示形式を、使用頻度順、ABC（50音）順、語数順に並び替えることが可能
- ③本文中の単語やフレーズの取得や指定書式の文字列の取得が可能
- ④特定の文字列をマーキング可能
- ⑤表示された語句をクリップボードに保存可能
- ⑥語句を文書中で検索、カーソルのジャンプが可能

※：ヘッダー、フッター、テキストボックスなど、本文以外の語句については頻度を数えません。

Description

BACKGROUND OF THE

1. Field of the Invention

The present invention rela

2. Description of the Rel

Today, USB drives, also re

media such as floppy di

a USB connector for conn

configured for storing and

powering the processing c

Portable media players, a

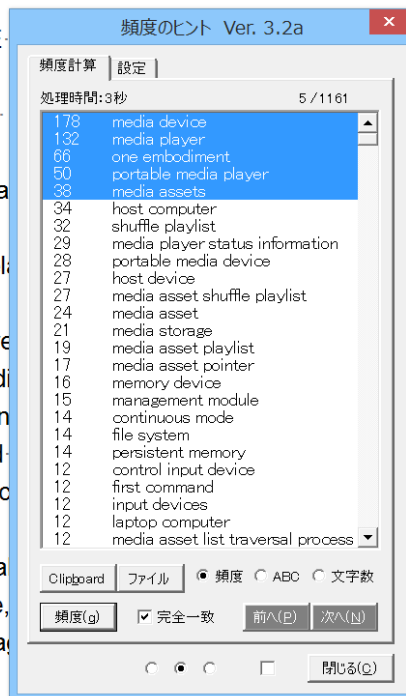
removable media storage,

media player has advanta

Those portable media players that store media in non-volatile memory are commonly referred to as Flash M

are often smaller than other types of portable media players. One problem common to many conventional

(英文引用：US7536565 約1万8000語)



fically, to portable media players that store a

drives, are popular portable data storage de

In most cases, the USB drive is a plug-and

devices work well, they are limited in the o

ner portable storage mediums) and therefor

nable users to communicate with the proces

Also popular today. Portable media playe

with internal hard drives; and those that store

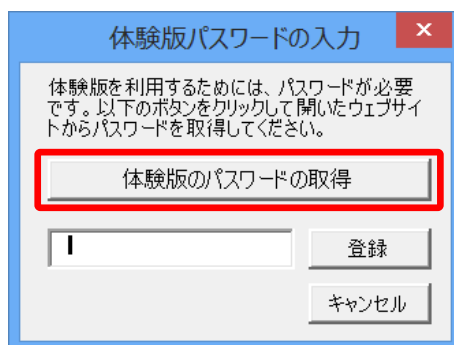
unctionality, battery life, and media storage c

インストール方法

同封の「インストールの方法（頻度のヒント）.pdf」をご覧ください。

体験版のパスワードの取得

[頻度のヒント] ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

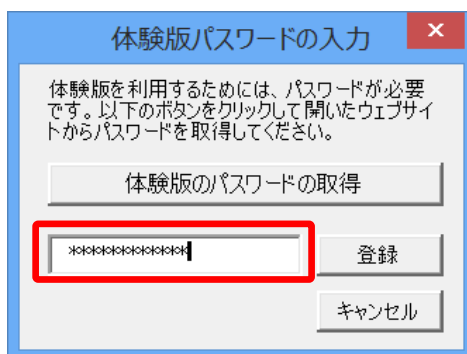


体験版パスワードの入力ダイアログボックス

[体験版パスワードの取得] ボタンをクリックすると、以下のサイトが開きます。（インターネット接続が必要です）

体験版パスワードの申請フォーム（インターネット接続が必要です）

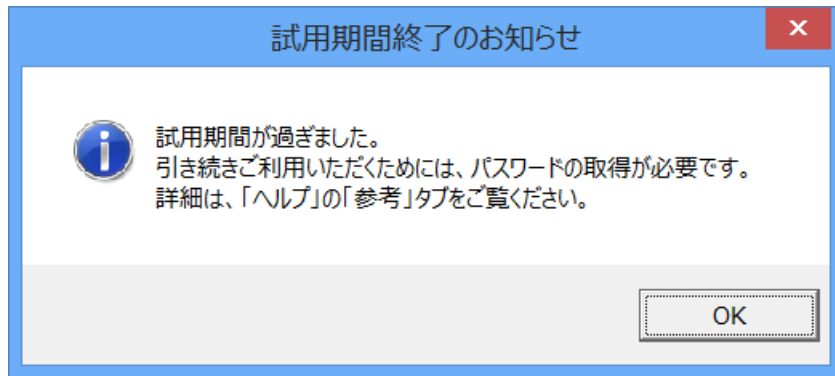
こちらでメールアドレスをご入力いただくと、そのメールアドレスにパスワードが送信されます。取得したパスワードを登録して、ご利用を開始してください。



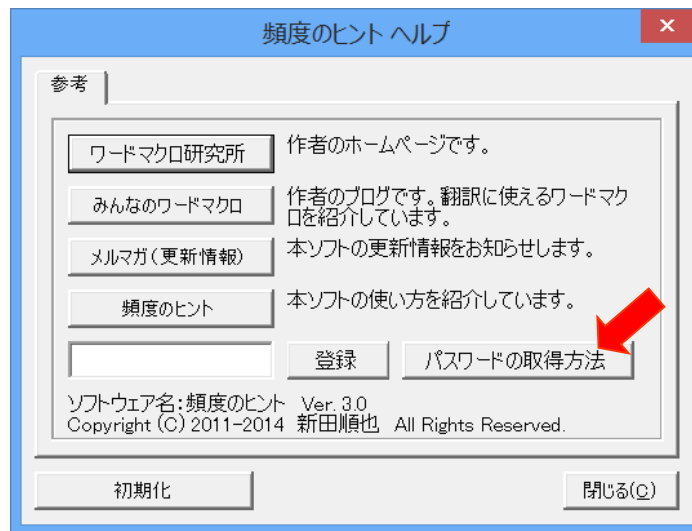
体験版パスワードの入力

2. ユーザー登録方法

体験版は 60 日間ご利用いただけます。試用期間が過ぎると、以下のダイアログが表示されます。



[OK] ボタンをクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。



ユーザー登録のダイアログボックス

試用期間終了後もご利用いただく場合には、[パスワードの取得方法] ボタンをクリックして表示されるサイト（次ページ）からご登録ください。

1 お客様情報入力

2 内容確認

3 登録完了

法人のお客様で複数ライセンスをご注文の場合は、[問い合わせフォーム](#)からご連絡ください。割引価格をご案内いたします。

ご注文内容をご確認ください。

商品名	価格 (税込)	小計
 頻度のヒント 正規ユーザーライセンス	1,980円	1,980円
商品の合計金額 (税込)		1,980円

クーポンコード

クーポンの適用

お客様情報の入力

メールアドレス **必須**

メールアドレス 【半角英数字】

お名前 **必須**

姓

名

フリガナ

セイ

メイ

会社名

会社名

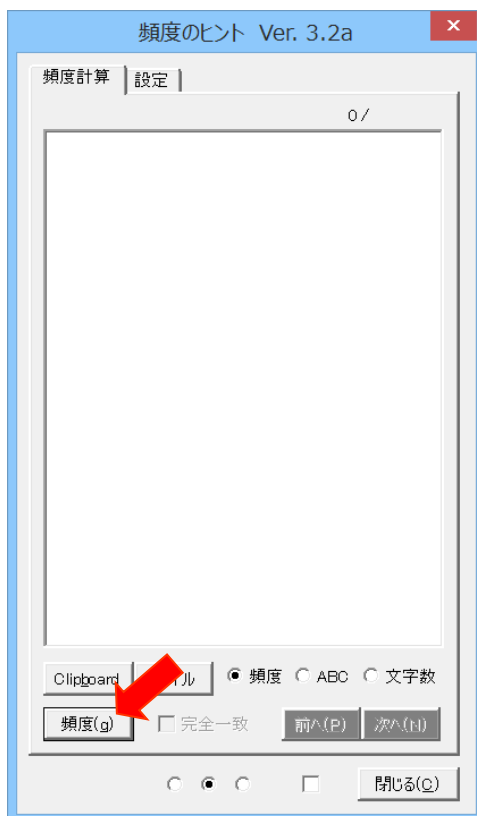
部署名

部署名

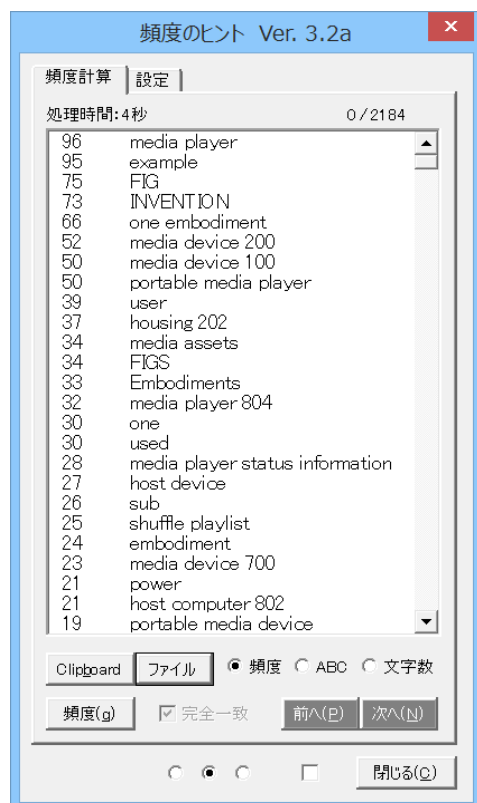
正規ユーザーお申し込みフォーム（インターネット接続が必要です）

0. クイックスタート

ツールバーまたはアドインタブの[頻度のヒント] ボタンをクリックするとダイアログボックスが表示されます。初期設定では以下の表示になります。



[頻度] ボタンをクリックすると、表示されている文書の本文中の文章を解析し、用語の頻度を一覧表示します。処理時間は文書の大きさ、パソコンの性能、Word のバージョンにより異なります。



表示の並び替えができます。頻度、ABC 順、文字数順に並べ替えます。



[頻度計算] 欄にリストアップされた用語を選択すると、選択された文字列を本文中で検索できます。日本語の文書の場合は完全一致が解除され、部分一致で検索をします。英文の文書の場合には完全一致で文字列を検索します。

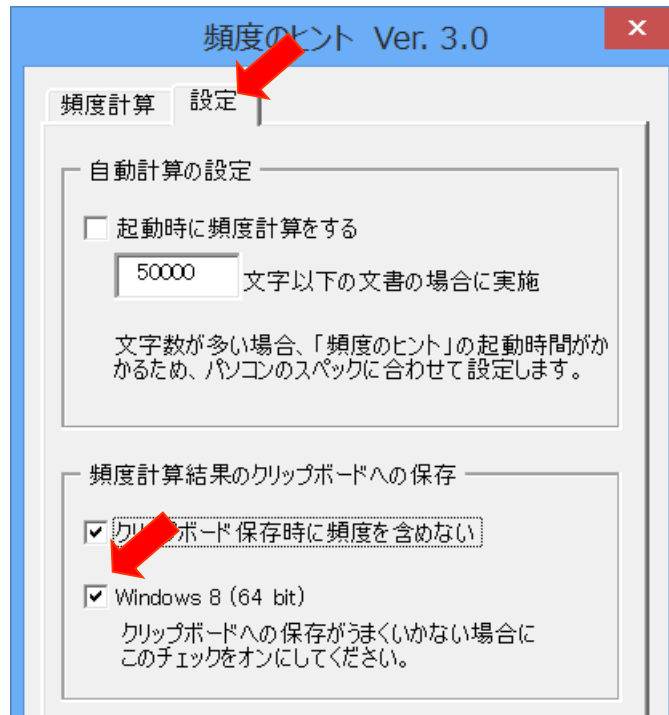
[ファイル] ボタンをクリックすると、頻度計算の結果を新規文書に書き出します。

[Clipboard] ボタンをクリックすると、頻度計算の結果をクリップボードにコピーできます。頻度の計算結果を 2 行以上選択して[クリップボード] ボタンをクリックすれば、選択した部分だけをクリップボードにコピーできます。

Windows 8 (64 ビット版) では、コピーした内容を貼り付けたときに、以下のように文字化けすることがあります。□が二つ入りました。

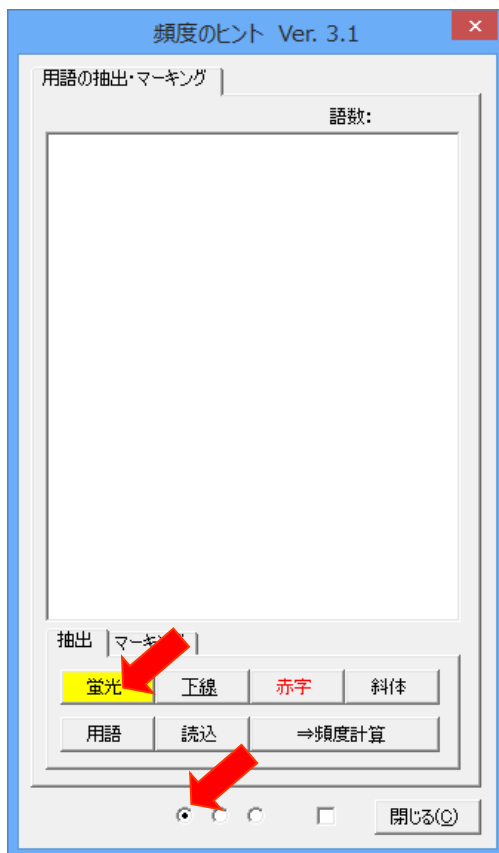


このような場合、[設定] タブから以下のようにチェックボックスをオンにしてください。

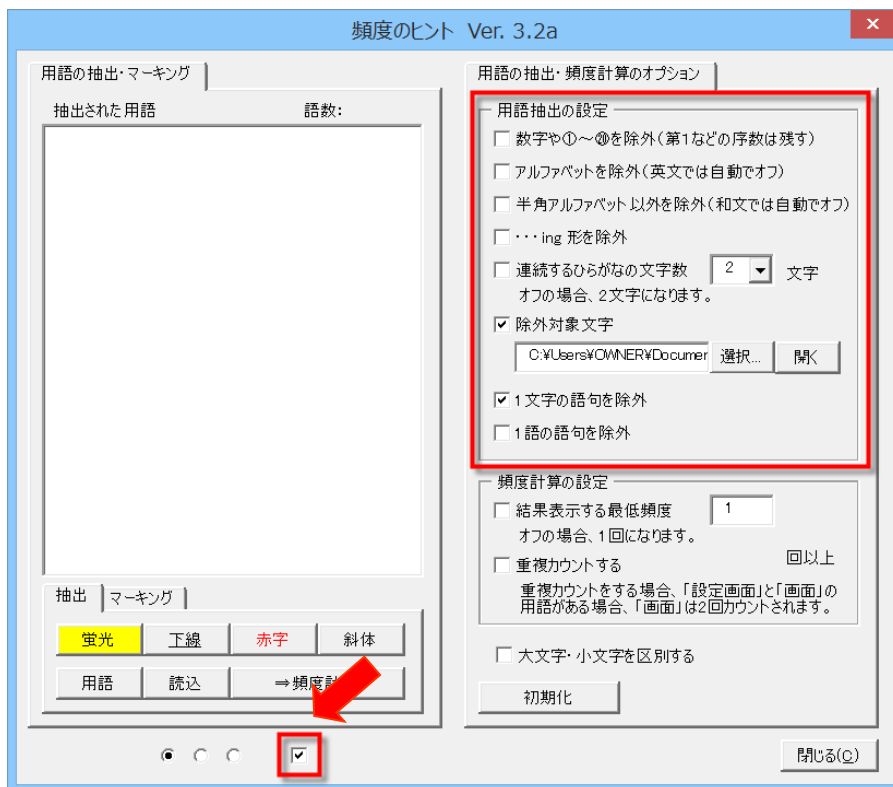


1. 抽出方法

本文中の単語やフレーズでの抽出の他、特定の書式（任意の色の蛍光ペン、一重下線、赤文字、斜体）でマーキングされた語も抽出できます。



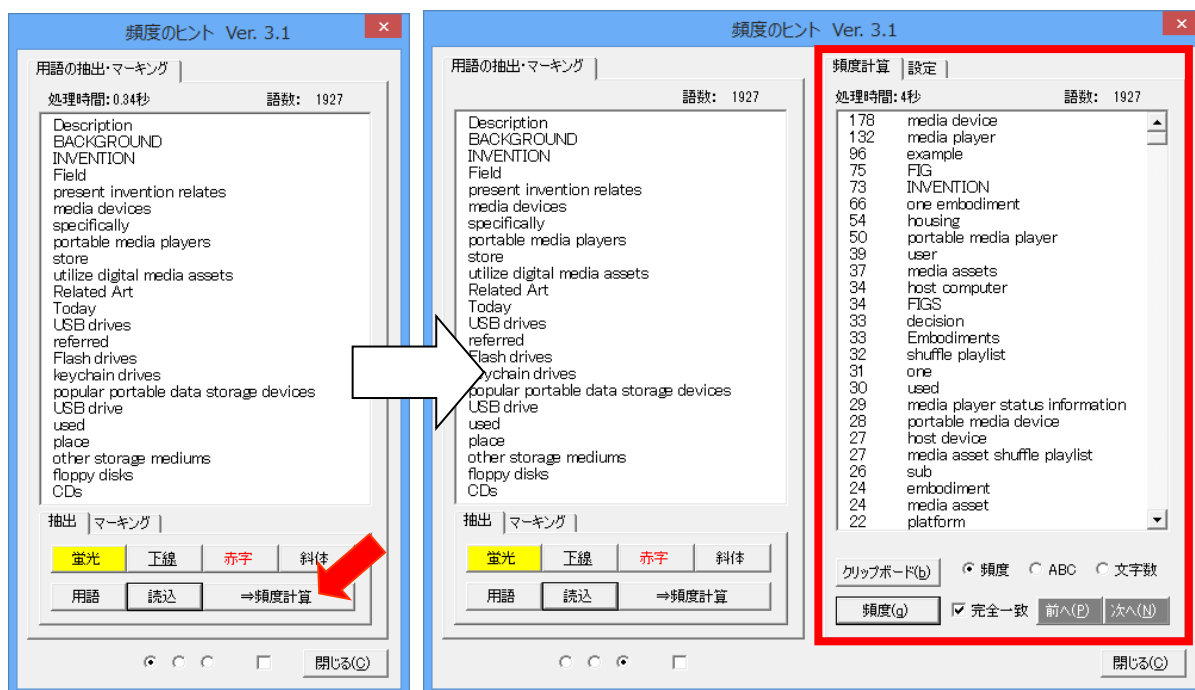
上記のボタンにて、用語を抽出したり、下線が引かれている用語を抽出したりできます。ダイアログボックスの下端にある☑をオンにしてオプションを開くと、様々な語句の抽出条件を設定できます。



2. 語句に対する操作方法

「用語の抽出・マーキング」欄に記載された語句に対して、頻度を算出します。

[⇒頻度計算]ボタンをクリックすると、「用語の抽出・マーキング」欄の用語の使用頻度が、画面の右側にある「頻度計算」欄に表示されます。



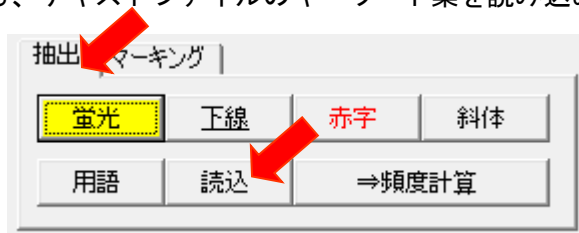
[マーキング]タブのボタンをクリックすると、「用語の抽出・マーキング」欄の用語を本文中でマーキングします。[WildC] ボタンをオンにすれば、「用語の抽出・マーキング」欄の用語をワイルドカード検索してマーキングできます。



ヒント：

「抽出された語句」欄には、自分で文字を入力することができます。特定のキーワード集を作っておけば、それらの語句がどの程度の頻度で使われるのかを調べたり、マーキングしたりできます。

以下の [読込] ボタンから、テキストファイルのキーワード集を読み込みます。

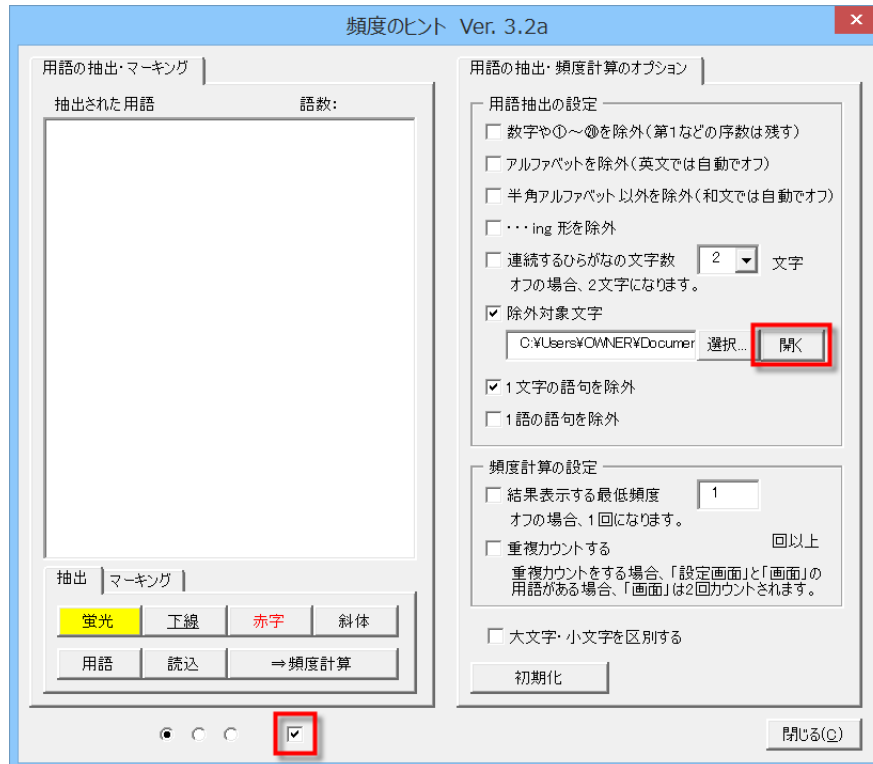


3. 用語の抽出精度を高めるために

オプションを設定すると、用語の頻出精度を高めることができます。

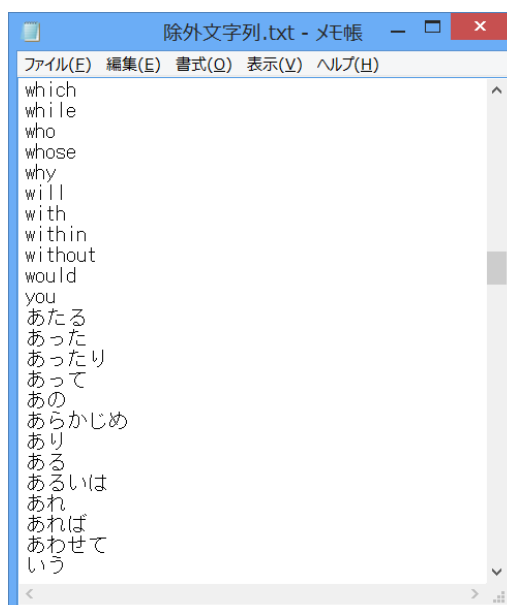
オプションを開くと「除外対象文字」を編集できます。

[開く] ボタンをクリックすると、「ドキュメント」フォルダの「頻度のヒント」フォルダに保存された「除外文字列.txt」ファイルが開きます。



英語と日本語の両方の文字列を登録できます。

頻度の計算から除外する文字列を登録します。現在 300 あまりの文字列が登録されています。ご自由に追加・修正してください。



4. 符号表を作成する

特許明細書では、参照符号から符号表を作成できます。

1つのファイルに原文と訳文の両方が書かれている場合には、符号に基づいて用語集を作成できます。

対象のファイルを開いた状態で、[符号表] タブの [符号表] ボタンをクリックします。以下の例では、対訳表を用いました。対訳表でなくても原文の後に訳文が書かれていても同じように用語を抽出できます。

頻度のヒント Ver. 3.3c

頻度計算 符号表 設定

処理時間: 2秒 0 / 246

27	RAM
51	zoom lever
51	zoom lever TELE/WIDE
51	ズームレバー
52	shutter button
52	シャッターボタン
53	再生ボタン
53	reproducing button
54	power button
54	パワーボタン
55	撮影レンズ
55	image taking lens
56	AF illuminator
56	AFイルミネータ
57	レンズカバー
57	lens cover
100	操作画面
100	predetermined operation screen
100	operation screen
101	操作説明画面
101	operation manual screen
200	initial screen
200	初期画面
201	先ず操作説明画面
201	操作説明画面

Table

符号 要素名

前へ(P) 次へ(N)

閉じる(C)

文書中の符号（と思われる数字）がついた用語をリストアップします。[Table] ボタンをクリックすると、リストアップされた用語を新規文書で用語集として表示します。

符号	日本語	英語
1	特許文献 制御部 司る制御部 レンズ部 区分	lens unit above-mentioned Patent Document item control unit Patent Document
2	制御プログラム 区分	item control program
3	区分 操作入力部	item operation input unit
4	記憶部	storage unit
5	表示部	display unit
11	レンズ部 液晶パネル	lens unit liquid crystal panel
12	撮像素子	imaging device
13	アナログ信号処理部	analog signal processing unit
14	D変換部	Analog/Digital 変換部 analog/digital A/D converting unit A/D converting unit
15	デジタル信号処理部	digital signal processing unit
16	該タッチパネル タッチパネル タッチパネル	touch panel
17	液晶パネル	liquid crystal panel
18	タッチスクリーン	touch screen
19	記録デバイス	recording device
20	アクチュエータ 該アクチュエータ	actuator

抽出された用語集は完璧なモノではありません。原文と訳文の言葉の揺れがあるかもしれませんし、自動抽出ゆえの誤判定があり関係のない用語を抽出することもあります。

頻度のヒントのダイアログボックスで項目をダブルクリックするとその用語が使われている箇所にカーソルがジャンプしますので、用語を文書で確認してください。

お知らせ

▼Word マクロセミナーのお知らせ (2 回コース)

「Word を翻訳マシンにチューニングする」をコンセプトに、Word マクロのプログラミングを学ぶセミナーを開催しております。ゼロからプログラムを作るのではなく、完成品をどのように改造するのか？自分好みに作りかえるのか？を学びます。市販の Word 本に書かれていないおいしいヒント満載 + 仲間作りに最適なセミナーです。ご興味のある方はご連絡ください。優先的にご案内いたします(毎回、すぐに定員に達してしまいます)。

▼関連サイト

- ・みんなのワードマクロ ブログ

<https://www.wordvbalab.com/>

ワードマクロに関する情報(マクロテンプレート、プログラムのコードと解説、書籍紹介、ウェブサイト紹介など)を公開しています。

一括置換翻訳の支援ソフト「ぱらぱら」や翻訳チェックソフトの「色 de チェック」など、有料アドインの解説もしています。関連セミナーのご案内もいたしますので、お見逃しなく！

▼メルマガ

- 【みんなのワードマクロ】メルマガ

<http://www.mag2.com/m/0001007563.html>

マクロテンプレートの更新情報や上記ブログの内容を月に 1 回発信します。

一般公開のマクロに関するバグの修正や更新があった場合には、このメルマガを通じてご連絡いたしますので、必要な方はご登録ください。

▼情報記録用のファイル

ユーザーテンプレートフォルダ(Templates)に、フォルダ(フォルダ名:みんなのワードマクロ)を作成します。そして、その中にマクロ実行用の.iniファイル(ファイル名:mwm_word_freq.ini)を作成します。この.iniファイルに、ソフトの設定情報を記録しています。

▼マクロの使用上の注意

プログラムの作成と動作確認は万全を尽くしておりますが、本ソフトにより引き起こされたいかなる事態へも責任は負いかねますので、ご了承ください。

▼動作確認をしたシステム

Windows 10 + (Word 2007, Word 2010, Word 2013, Word 2016)

Windows 8 + (Word 2003, Word 2007, Word 2010, Word 2013)

Windows 7 + (Word 2003, Word 2007, Word 2010)

▼連絡先

新田順也 (nit@n-i-t.jp)

▼著作権について

マクロのマニュアルおよびソフトウェアの著作権は、作者である新田順也が所有しています。